

# きもちのよいあいさつをしよう 3年生

(望ましい人間関係の育成)

## 1. 題材について

3年生頃になると「あいさつはしたほうがいい」ということが頭では分かっている児童がほとんどだ  
と思う。しかし、一方で「きもちのよいあいさつ」とは具体的にどういう場面でどういう風にするのが  
よいものであるかは分かっていない児童も多いのではないかと。「きもちのよいあいさつとはどういうも  
のか」をみんなで考え、実際に行動できるようにしていきたい。

## 2. 活動の実際

### (1)事前の活動

・きもちのよいあいさつができたと思うとき、または、きもちのよいあいさつをしてもらったときなど  
について思い出し、アンケートに書いておく。

### (2)本時の活動

#### ねらい

・きもちのよいあいさつとはどんなものか考え、それを今後の生活に生かしていけるよう  
にする。

#### 展開

	児童の活動	評価( )と支援( )	資料
導入	1、あいさつのアンケートの結果から気づいたことを発表する。 ・あいさつするとみんなきもちよくなるんだな。 ・人と人が最初に出会った時に話す言葉があいさつ。その人と気持ちのよい関わりをもつためにも、あいさつって大事だな。 ・あいさつをした人もされた人もきもちがよくなるようなあいさつをしたいな。	事前のアンケートの結果を知らせると同時に、そのときの気持ちを思い出させることにより、「きもちのよいあいさつをしたい」という気持ちを持たせる。	アンケート結果
展開	2、きもちのよいあいさつとはどんな方法があるか具体的に考える。 ・元気に言う。(相手にちゃんと聞こえないと意味がない。) ・相手の目を見て笑顔であいさつする。(下をむいたまま言わない。) ・自分からあいさつする。 ・ハイタッチするのもいいな。 ・相手も自分も元気になるようなあいさつがいい。	実際にあいさつしている映像を見せたり、やってみたりしながら実際のきもちになって考えられるようにする。  きもちのよいあいさつとはどんなものか考えている。 (集団の一員としての思考・判断)	よいあいさつをしている人のビデオ

	<p>3、みんなで考えたことをもとにロールプレイをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにやってみる。</li> <li>・感想を話し合う。</li> </ul>	<p>具体的場面（校門で会ったとき・教室に入るときなど）を想定して行う。</p> <p>あいさつした人、された人のきもちの両面から考えるように伝える。</p>	
終末	<p>4、本時を振り返り、自分の今後のめあてをもつ。</p>	<p>みんなで考えた中から自分ができそうなものを一つか二つ選び目標にしてもいいことを伝える。</p> <p>きもちのよいあいさつとはどんなものか考え、それを今後の生活に生かしていこうとしている。</p> <p>（自主的・実践的な活動・態度）</p>	ワークシート

### 3 事後の活動

折にふれて自分のめあてを振り返る。

### 4 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料

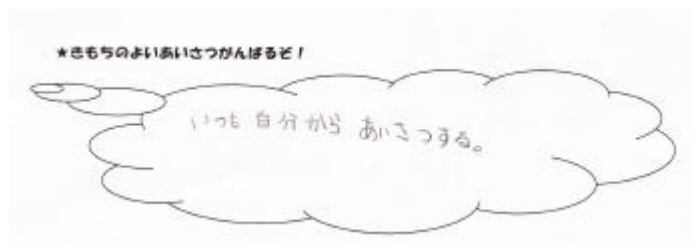
**あいさつについて考えよう!**

★自分で「気持ちのよいあいさつをしなさい」と思っただけでは大丈夫ですか？  
 大丈夫、気持ちのよいあいさつをしなさいと思っただけでは大丈夫です。

★自分で「気持ちのよいあいさつをしなさい」と思っただけでは大丈夫ですか？  
 大丈夫、気持ちのよいあいさつをしなさいと思っただけでは大丈夫です。

★自分で「気持ちのよいあいさつをしなさい」と思っただけでは大丈夫ですか？  
 大丈夫、気持ちのよいあいさつをしなさいと思っただけでは大丈夫です。

#### (3) 実践への意欲づけのための資料



#### (2) ねらいを焦点化するための資料

あいさつ運動をしている校門を撮影した映像。

教室に入る入り口をカメラ撮影。中から担任があいさつし、あいさつしているようすの映像。

職員同士のあいさつの映像。（職員室に入るときには必ず先生達はあいさつしている！）

あいさつ運動などで下級生にハイタッチであいさつしているような映像。 などなど。

### 5 備考

日常のあいさつの様子をビデオに撮って見せたのは、子どもたち自身が現在のあいさつについて冷静に振り返ることができて効果的であった。また、今後のあいさつの仕方について考えるきっかけにもなった。